

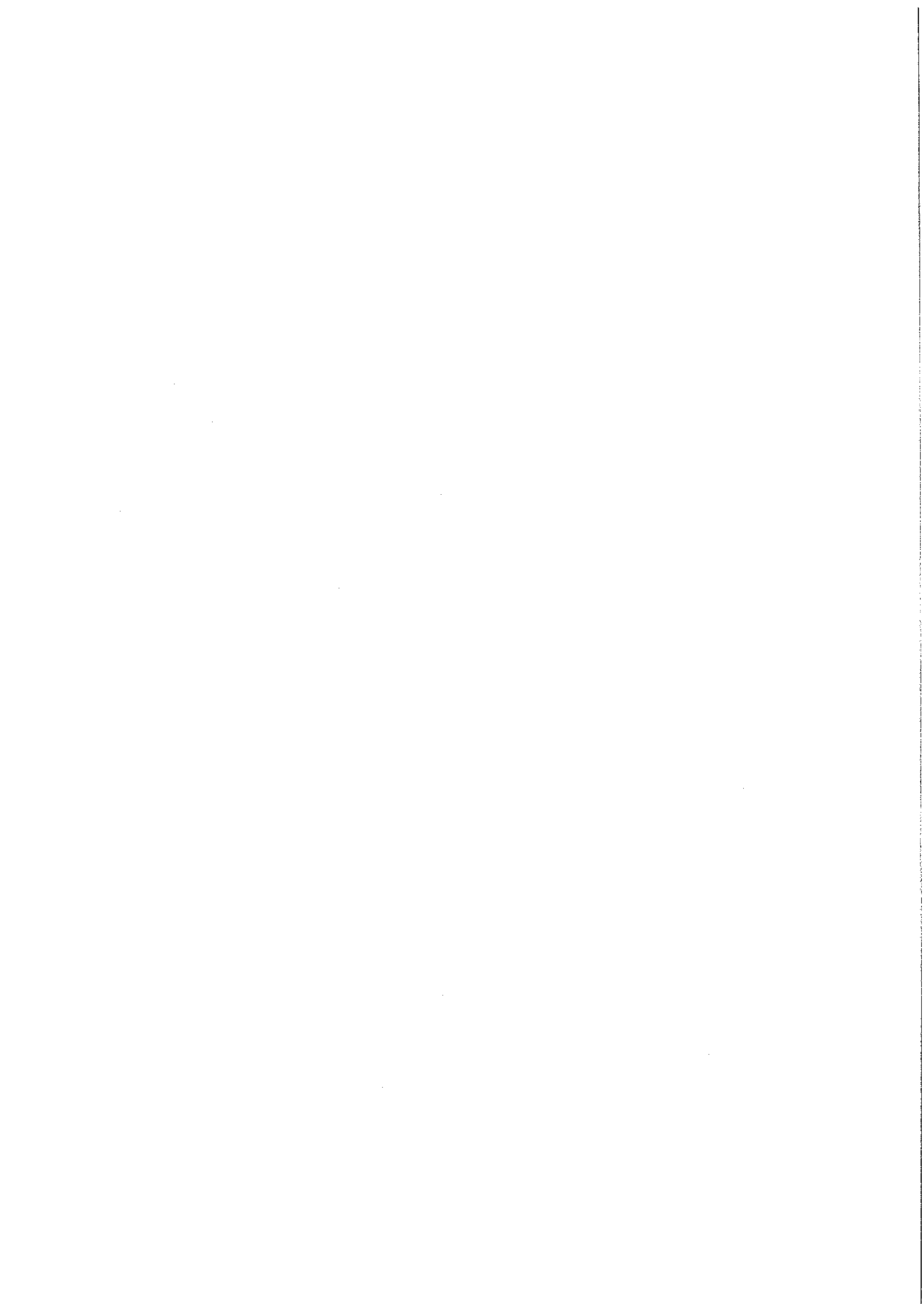
# 令和元年度

(平成31年度)

## 自己評価報告書

社会福祉法人ゆきわり会

事業種別	幼保連携型認定こども園・一時預かり事業
事業所名	SHINJO



**認定こども園SHINJO 福祉サービス第三者評価 共通評価基準  
自己評価シート① 基本情報**

◆自己評価シート①「基本情報」（本シート）、自己評価シート②「自己評価表」をご記入ください。

【基本情報】

①施設・事業所情報

名称： 社会福祉法人 ゆきわり会 幼保連携型認定こども園SHINJO	種別： 認定こども園
代表者氏名： 園長 土岐 美穂	定員（利用人数）： 105名（令和2年3月1日付 114名）
所在地： 青森市大字新城平岡252-4	
TEL： 017-788-0874	ホームページ： co-sinjo@isis.ocn.ne.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和36年10月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 ゆきわり会	
職員数	常勤職員： 20名 非常勤職員 5名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育教諭 18名
	准看護師 1名
	栄養士 1名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）
保育室6 乳児室1 遊戯室1 調理室1 事務室1 教材庫2 調乳室1 沐浴室1 遊具保管庫1 職員休憩室1 調理員休憩室1 洗濯室1	
防犯カメラ・青森警備保障・園内外放送設備・非常通報装置・消火設備	

②目的及び運営方針

社会福祉法人ゆきわり会の運営する認定こども園SHINJOは、義務教育及び保育の基本に基づいて一体的に展開される生活を通して健全な心身の発達をはかりつつ、生きる力の基礎を育成するため、義務教育及びにその後の教育の基礎を培うとともに、こどもの最善の利益を考慮し、その生活を保障するとともに保護者に対する子育ての支援を行うことを目的とする。本園は、就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律及び青森市幼保連携型認定こども園の設備運営に関する基準を定める条例その他の関係法令遵守して運営を行います。

③施設・事業所の特徴的な取組

認定こども園となり、課外活動として外部から講師を招き英語教室、ピアノ教室、体操教室、また、ヤクルトスイミングには園バスを利用している。また、週に一度英語講師による“えいごのじかん”をFIVEROOM～ZEROROOMまで行っている。さくらさくらぼりズムを乳児から行い、丈夫な体作りや表現力の基礎作りをしている。卒園を迎える頃には体幹が鍛えられ側転も自信を持って披露している。また、地域には公園、グラウンド、川、新幹線の駅がありと様々な場所へ散歩へ出掛け、いろんな道を歩きながら地域の人と触れ合ったり、季節ごとに変わる自然を体感する事によってより感性が磨かれていく。障害のある子どもひとつの個性とし捉え他の子どもと一緒に生活をしている。また、子どもの送迎の際、保護者が園舎の中に入り子どもの遊びや、友だちとの関わりが見えるよう配慮している。

④第三者評価の受審状況

評価実施期間 平成21年1月16日～平成21年3月5日	平成21年 1月 15日（契約日）～
	平成21年 4月 10日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成21年度）

【自己評価の実施】

①担当者  
担当者 土岐美穂

②自己評価の実施体制等  
園長、主幹保育教諭(1名)による合議。2回 2日間での打ち合わせ

③課題等  
自己評価を実施したうえで全体に関する課題や疑問などがありましたらご自由にお書きください。  
認定こども園となり、新しい園舎、新しい場所で与えられた環境を十分に活かしながらも、改善点や今後も続けていきたいことなどが見えてきた。特に食育に関しては、野菜などの栽培が出来ずに過ぎたが、散歩に行ったときなど地域の方の畑など見ることができた。今年度は“えいごのじかん”を設け教育・保育の面でも実践がされてきたと思う。また、課外活動も希望者で行ってきたが、今後も園だよりや、ホームページでさらに伝えていきたい。

# 認定こども園SHINJO 自己評価シート②

## 【共通評価基準】

### 【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

## I 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(こども園)内の文書や広報紙、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(こども園)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(こども園)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	入園説明の際に資料をもとに説明がされている。また、月1回の職員会議において、理事長から法人の理念、基本方針を職員に周知されている。行事のさい保護者の方々に理事長より法人理念と事業計画が伝えられている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるような具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(こども園)

### I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	年度途中で多くなる待機児童に備え、一時預かりを常時受けられるようにしてきた。そのため定員に空きが出ると一時預かり利用者が入園でき、子どもにとっても保護者にとっても切れ目のないサービスができた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)数等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(こども園)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 経営環境や教育・保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

### I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
			<input type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	こども園となり新しい園舎、場所という事もあり、行事なども改善するところやまた、良かった点など次年度に生かしていきたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

# 認定こども園SHINJO 自己評価シート

## 【共通評価基準】

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	職員を含め計画・実行・反省(評価)をしているが、今年度の実績を基に、次年度へ繋げていく。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	行事計画を保護者に配布し、園だよりやホームページで活動の様子を随時伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく教育・保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 教育・保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	自己評価は前期後期にわけ、2回行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	日常的に、教育・保育に関しての反省やそこに至るまでの分析を行い、保育内容の向上に努めている。また、クラス合同ミーティングやリーダー会議を定期的に行い、子どもの様子、保護者の状況等に対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

## II 組織の運営管理

### II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、こども園内の広報誌等に掲載し表明している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
			<input type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート**  
【共通評価基準】

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、教育・保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、教育・保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	職員の質の向上となるように県内の研修に参加し教育・保育実践に役立てたりキャリアアップ研修により教育・保育の質の向上をサポートしている。また、職員の園内研修でアウトプットしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、教育・保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、教育・保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、教育・保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	c	<input type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取組んでいる。
			<input type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

**II-2 福祉人材の確保・育成**

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 教育・保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	資格を持ちながらも、仕事の時間が合わずに就労できない事が無いように就労時間に配慮している。また、家庭環境の変化にも対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(こども園)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 法人(こども園)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	家庭状況に応じて休みが配慮できるような体勢になっている。また、子どもが病気で休みが必要になった時は積極的に、子どもの介護休暇を利用してハックアップ体制を整えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

## 認定こども園SHINJO 自己評価シート 【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	c	<input type="checkbox"/> ア	組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	個別面接を行う等こども園の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
			<input type="checkbox"/> ウ	職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input type="checkbox"/> エ	職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input type="checkbox"/> オ	職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	<input type="checkbox"/> ア	こども園が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/> イ	現在実施している教育・保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
			<input checked="" type="checkbox"/> ウ	策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input type="checkbox"/> ア	個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	青森県保育連合会や保健大学で行われている各種研修に、参加できるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を推奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	c	<input type="checkbox"/> ア	実習生等の教育・保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/> イ	実習生等の教育・保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習生の受け入れについてのマニュアルは作成中である。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	専門職職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/> エ	指導者に対する研修を実施している。
			<input type="checkbox"/> オ	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

### II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア	ホームページ等の活用により、法人、こども園の理念や基本方針、教育・保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/> イ	こども園における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	ホームページに子どもの活動の様子を載せている。また市保育連盟主催の「子育てひろば」に保育園の情報、活動内容の掲示をしている。		<input type="checkbox"/> ウ	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	法人(こども園)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(こども園)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	c	<input checked="" type="checkbox"/> ア	こども園における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	こども園における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
			<input type="checkbox"/> ウ	こども園における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input type="checkbox"/> エ	こども園における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input type="checkbox"/> オ	外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input type="checkbox"/> カ	外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづき、経営改善を実施している。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート**  
【共通評価基準】

**II-4 地域との交流、地域貢献**

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	地域の小学校交流を定期的に行っている。またお遊戯会のリハールに老人を例年招待していたがインフルエンザを考慮して今年度は行っていないが、老人施設を訪問し披露することができた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ こども園や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	c	<input type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	ボランティアに対して子どもと関わる上での注意事項は事前に保育教諭から伝えている。		<input type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等が必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
25	① こども園として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	c	<input type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	該当する子どもがいる場合は、児童相談所へ要保護児童に関する情報提供報告書を提出している。		<input type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
26	① こども園が有する機能を地域に還元している。	c	<input checked="" type="checkbox"/>	ア こども園のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ こども園の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	月に1回こどもえんであそぼうを催し、地域の未就学児と保護者を対象としてこども園に足を運んで貰い園での活動体験をしている。		<input type="checkbox"/>	ウ こども園の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c	<input checked="" type="checkbox"/>	ア こども園の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。



**認定こども園SHINJO 自己評価シート**  
【共通評価基準】

**Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

**Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス**

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した教育・保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 子どもを尊重した教育・保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 子どもを尊重した教育・保育に関する基本姿勢が、教育・保育の標準的な実施方法等に反映されている。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的な状況の把握・評価を行い、必要な対応を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(こども園) <input checked="" type="checkbox"/> キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(こども園) <input type="checkbox"/> ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(こども園)
判断した理由・特記事項等			
F.I.V.E.R.O.O.M(5歳児) F.O.U.R.R.O.O.M(4歳児)では活動内容をわかりやすく伝えることで、目標を持ち互いに話し合い励まし合い、教え合ったりする姿が見られた。			
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	<input type="checkbox"/> ア 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。 <input checked="" type="checkbox"/> カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
判断した理由・特記事項等			
昨年度、個人情報に関しての取り扱いに職員周知が至ってなかったため、今年度は職員周知を徹底して行きたい。			
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	<input type="checkbox"/> ア 理念や基本方針、教育・保育の内容やこども園の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。 <input checked="" type="checkbox"/> イ こども園を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ こども園の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> エ 見学等の希望に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
判断した理由・特記事項等			
市保連主催の未就学児対象の催しで園の情報を写真を含めた小冊子にし多くの人が入手できる場所に設置した。			
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア 教育・保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 教育・保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。 <input type="checkbox"/> エ 教育・保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。 <input type="checkbox"/> オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
判断した理由・特記事項等			
書面には残してはいないが、保護者説明は園のしおりを基に丁寧にわかりやすい言葉で伝えている。			
32	③ こども園等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア こども園等の変更にあたり、教育・保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。 <input type="checkbox"/> イ こども園の利用が終了した後も、こども園として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。 <input type="checkbox"/> ウ こども園の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
判断した理由・特記事項等			
こども園になり他園に転園した時にはその子どもの指導要録を送っている。			
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		自己評価結果	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	c	<input checked="" type="checkbox"/> ア 日々の教育・保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(こども園) <input type="checkbox"/> イ 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(こども園) <input checked="" type="checkbox"/> ウ 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(こども園) <input checked="" type="checkbox"/> エ 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(こども園) <input type="checkbox"/> オ 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(こども園)
判断した理由・特記事項等			
保護者への個別面談を実施している。			

**認定こども園SHINJO 自己評価シート**  
【共通評価基準】

		自己評価結果	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(こども園)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
入園説明の際に説明をしている。また、受付と解決を図った記録を適切に保管している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、教育・保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	<input type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
定期的には園中でのヒヤリハットを行い、職員で共有、対策を講じている。及び事故が発生したときは手順を踏まえて行動している。また、事案についての対策を行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
感染症の流行が見られる前に、職員で感染予防対策を実施している。また、こども園周辺の教育施設での発生にも注意し、保護者に情報提供として、罹患者の人数を掲示している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 保護者への情報提供が適切になされている。(こども園)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決められている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、教育・保育を継続するために必要な対策を講じている。
災害に備えて食料の確保また、テント・バッテリー・灯油ストーブ など整備している。次年度に向け、食料や備品のリストアップをしていく。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。
			<input type="checkbox"/>	エ 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 防災計画等整備し、地域の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

# 認定こども園SHINJO 自己評価シート

## 【内容評価基準】

### 【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

### A-1 教育・保育内容

A-1-(1) 教育及び保育内容に関する全体的な計画の編		自己 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 法人の理念、教育・保育目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて教育及び保育内容に関する全体的な計画を編成している。	a	☑	<p>ア 教育及び保育内容に関する全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、認定こども園法、認定こども園教育・保育要領などの趣旨をとりあて編成している。</p> <p>イ 教育及び保育内容に関する全体的な計画は、法人の理念、教育・保育目標に基づいて編成している。</p> <p>ウ 教育及び保育内容に関する全体的な計画は認定こども園教育・保育要領に掲げられている「育みたい3つの資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を考慮して編成している。</p> <p>エ 教育及び保育内容に関する全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。</p> <p>オ 教育及び保育内容に関する全体的な計画は、教育・保育に関わる職員が参画して編成している。</p> <p>カ 教育及び保育内容に関する全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。</p>
判断した理由・特記事項等			☑	
認定こども園となり、法人の理念や認定こども園教育・保育要領等に基づき編成していた。			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
A-1-(2) 教育及び保育の一体的展開		自己 評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	☑	<p>ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。</p> <p>イ こども園内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。</p> <p>ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。</p> <p>エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。</p> <p>オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。</p> <p>カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。</p>
判断した理由・特記事項等			☑	
新しい園舎という事もあり、広々として明るい空間で過ごすことが出来ている。			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
3	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	☑	<p>ア 子どもの発達と発達の見通し、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。</p> <p>イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。</p> <p>ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。</p> <p>エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。</p> <p>オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。</p> <p>カ せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。</p>
判断した理由・特記事項等			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	☑	<p>ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。</p> <p>イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。</p> <p>ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。</p> <p>エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。</p> <p>オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。</p>
判断した理由・特記事項等			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	☑	<p>ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。</p> <p>イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。</p> <p>ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。</p> <p>エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。</p> <p>オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。</p> <p>カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。</p> <p>キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。</p>
判断した理由・特記事項等			☑	
子どもの遊びのイメージが膨らむような教材・廃材(段ボール・新聞紙・紙テープ・テープ)を確保し、豊かに表現できる環境作りをした。また、地域のお祭りを見学したり、避難訓練に参加(5歳児)した。			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
			☑	
			☑	

**認定こども園SHINJO 自己評価シート**  
【内容評価基準】

			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育教諭等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	ZEROROOM(0歳児クラス)のは明るく広いこともあり、子どもたちが十分探索活動を楽しみ、保育教諭とも安定した関りが出来ていた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、教育及び保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育教諭等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育教諭等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育教諭等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育教諭以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、教育及び保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の教育及び保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育教諭等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の教育及び保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育教諭等が適切に関わっている。
	就学前の要録提出では伝えきれない子どもの状況を小学校の先生との聞き取り調査等で伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の教育及び保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育教諭等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学前の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、教育及び保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、ROOM等の指導計画と関連づけている。
	障がいについての研修に参加し、情報を得ている。また、障害のある子や、気になる行動をとる子の保護者とも話し合いができたが、他の保護者に対して障害があるこの情報はほとんど伝えてはいない。園舎自体もバリアフリーとなった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた教育及び保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、こども園での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの教育及び保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input type="checkbox"/>	ク	こども園の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	連絡帳やタッチビューで保護者へはこども園での様子をお伝えしている。また、送迎の際口答でお伝えできる環境となっている。体調に不安がある子は事務室でゆったりと過ごしている。異年齢児の交流に関しては活動時FIVEROOM、FOURROOM、THREEROOMは合同で過ごすことがあったが、他のROOMとの関りは少なかった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育教諭間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育教諭と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画「幼児期の終わりまでに育っほしい10の姿」に基づく、教育及び保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関する事項及び「幼児期の終わりまでに育っほしい10の姿」が記載され、それに基づいた教育及び保育が行われている。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート**  
【内容評価基準】

判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。	
近隣の小学校との交流事業に積極的に参加し、在校生や小学校教諭とも交流している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育教諭等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに關係する職員が参画し、指導要録を作成している。	
		A-1-(3) 健康及び安全		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	学校保健計画に基づき保健計画を編成している。	
今年度から保健計画を編成したが、十分に反映されていなかった部分もあり、次年度は見直しながら、さらに子供の発達にあった取り組みを考慮していきたい。お散歩マップの作成は細かくできた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、こども園の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。	
		13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、教育・保育が行われている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされるよう保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。	
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。	
アレルギー除去食での対応や、食器を分けて食事をしている。年度中でも家族が自宅で医師の指導により食べられるよう進めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。	
15	④ 子どもの安全管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	学校安全計画に基づき安全計画を編成している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	毎月、安全点検を行い、その結果について職員が把握し改善に努めている。	
新しい園舎での避難訓練ではあったが、避難口から避難場所への移動は保育教諭の誘導によりスムーズに出来た。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	災害等の発生に備え、防火設備、避難経路等の安全管理に配慮している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	避難訓練を毎月実施している(多面的な想定をした内容、時間等に配慮)。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	避難訓練の実施後職員間で確認を行い保護者や地域連携に努めている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	園児が日常的に利用する散歩経路や公園等の状況を把握、安全に配慮するように努めている。	
A-1-(4) 食事		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)		
16	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、食育計画を編成している。
判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。	
4才児から給食のおかずをバイキング形式にして、自分の食べられる量を取るようになっている。また、おかわり分も用意している。畑やプランターの準備が間に合わず、野菜等植えることはできなかったが、近くのスーパーマーケットに買いものに出かけたり(FIVEROOM)することができた。次年度はより食育に力を入れていきたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。	

# 認定こども園SHINJO 自己評価シート

## 【内容評価基準】

17	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	各ROOMに給食でおかわりされたメニューや名前を記入し栄養士に提出している。地域の郷土料理や旬の食材のメニューを提供している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や炊食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。	

### A-2 子育ての支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
18	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	教育及び保育の意図や内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	園内行事では親子参加型で行っており、子どもと一緒に目標を持ちながら活動する事により、親子の時間を共有する事ができている。又、子どもとの会話にも繋がっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)		
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
19	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
	保護者の要望に対していつでも対応できる体制を整えている。子育て支援事業として行っている「こどもえんであそぼう」では新しい園舎という事もあってか例年以上に参加者も増え、家庭での子どもの姿を相談する保護者もあり、子育て支援事業としての役割を果たしていると思う。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	こども園の特性を生かした保護者への支援を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育教諭等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子育て支援事業(こどもえんであそぼう)は地域の子育て支援になるよう努めている。	
20	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	子どもの体に付いているものについてはアイパッドで写真を撮っている。今年度は虐待という事案は無かった。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。	
		<input type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづき職員研修を実施している。	

### A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
21	① 保育教諭等が主体的に教育及び保育実践の振り返り(自己評価)を行い、教育及び保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育教諭等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの教育及び保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	保育教諭自身が行う自己評価によって振り返りができ、自身の反省や今後の課題が明記されているが、より具体的に専門性の向上に努めていく必要があると思う。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育教諭等の自己評価を、定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育教諭等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育教諭等の自己評価にもとづき、教育及び保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育教諭等の自己評価を、こども園全体の教育及び保育実践の自己評価につなげている。	